

北海道大学法科大学院と北海道大学法学部・北海学園大学法学部との連携協議会（合同開催）議事録

日時 令和4年3月14日（月）14：00～14：40

オンライン（Webex）にて開催

出席者 北海学園大学法学部 若月秀和学部長，神元隆賢教授（法曹養成プログラム委員），酒井博行教授（同），大滝哲祐准教授（同），川端事務長，新田事務員
北海道大学法学研究科 小名木明宏研究科長，城下裕二法科大学院長，曾野裕夫教務委員長，山下竜一教務委員，武隈学事担当係長
北海道大学法学部 池田悠法学部教務委員，佐藤陽子法学部教務委員

城下法科大学院長より，開催に先立ち，両校の情報共有・意見交換がより法曹連携教育にとって重要であることから，北海道大学法学部と北海学園大学法学部と合同の連携協議会を開催することについて説明があり，次年度以降も同様に合同開催をすることについて了承された。

I 報告事項

(1) 令和4年度特別選抜（令和3年実施）の結果について

城下法科大学院長から，5年一貫型教育選抜及び開放型特別選抜（前期日程・後期日程）について，実施日程・受験者数・合格者数・入学予定者数の報告があった。

(2) 特別選抜合格者に対する事前学習指導について

曾野教務委員長から，5年一貫型教育選抜の合格者に対し実施した事前学習指導について報告があった。従来，未修者に入学前学習教育，既修者へ参考図書の指示等を実施しているが，合格発表から入学までの間を有効な学修期間となるよう，事例問題の答案添削を実施した旨の報告があった。

(3) 令和3年度の法曹養成プログラムの実施状況について

北海学園大の状況について神元教授より，北大の状況について曾野教務委員長から，2年次・3年次生の登録者数・成績の修得状況・早期卒業者の動向等について報告があり，学生からの相談や質疑に関して両校の情報共有・意見交換を行った。

(4) 令和4年度の学修支援体制について

両大学における学修指導體制の確認を行った。

II 意見交換

法曹養成プログラム学生の成績評価，論述指導について，意見交換がなされた。また，法科大学院の早期履修制度を利用しやすくするために，北海学園大で1部学生が2部の授業を履修可能な体制を整えたことについて，報告がなされた。また，今後も，カリキュラム・授業改善について情報共有することが確認された。

(以上)